

平成 31 年 3 月 26 日

野洲市民病院に関する不正確な報道について

野洲市長 山仲 善彰

野洲市民病院整備事業については、平成 23 年（2011 年）4 月の野洲病院からの提案を受けて以降、透明性、客観性、専門性を基本として、公開の検討会、市民懇談会、市議会審議等を経て進めてきています。この事業には、市民及び医師会等からも熱い期待が寄せられています。去る 3 月 22 日閉会の第 3 回市議会定例会においても新年度予算が議決されました。

しかし、一部報道機関より同日朝刊及びその後はインターネットにおいて野洲市民病院整備事業の建設費や収支計画に疑問を呈する記事が掲載されました。この報道には、明らかに不適正な部分が存在すると考えられ、このような記事が掲載されることは、今後の事業の推進に影響が懸念されることから下記のとおりお知らせします。

野洲市民病院整備事業の状況については、市ホームページや市広報において情報の公開を行っており、記事の内容について全て検証が可能です。また、当該事業については、現在、訴訟係属中であり、事業の正当性については、いずれ明らかになると考えております。

記

当該記事では、①2012 年 5 月の時点はまだ検討段階であり、結論ではないにもかかわらず、「同月に開院 20 年後も赤字が続くと委員会が結論づけた」旨を記載している、②市民病院計画を巡る動きの表の 15 年 11 月において、自治連合会等からの要望や同会の依頼による市議会との意見交換会の開催など重要な動きが記載されていないなど誤っている又は誤解を与える可能性のある記載があります。

一部の報道機関により、市民の皆さまに誤った又は誤解を与える可能性のある情報の提供がなされたこととお知らせするとともに、今後も、野洲市民病院整備事業を透明かつ適正に推進してまいります。